

<報道資料>

2014年5月26日

株式会社 TBS ラジオ & コミュニケーションズ

株式会社文化放送

株式会社ニッポン放送

株式会社ジュピターテレコム

J:COM テレビで TBS ラジオ、文化放送、ニッポン放送が聴ける！！ **～ コミュニティチャンネルで AM ラジオを同時再放送 関東約 441 万世帯に ～**

株式会社ジュピターテレコムと株式会社 TBS ラジオ & コミュニケーションズ、株式会社文化放送、株式会社ニッポン放送の在京ラジオ3社は5月27日より、J:COM のデジタルコミュニティチャンネル「J:COM テレビ」で AM ラジオの同時再放送サービスを開始します。これは、在京3社のラジオ放送を J:COM のケーブルネットワークを通じて提供し、ご家庭のテレビで聴けるようにするサービスです。

ラジオを聴取するには、J:COM テレビのデータ放送の音声送信機能を使います。この方式でのラジオ音声の再送信は首都圏で初めての取り組みです。東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、茨城県の各 J:COM サービスエリアで、J:COM のネットワークに接続している約 441 万世帯のご家庭でご利用いただけます。J:COM の有料サービスに加入していない場合も、地上波 10ch で放送している「J:COM テレビ」のデータ放送のメニューから、「AM ラジオを聴く」ボタンを押すと、TBS ラジオ、文化放送、ニッポン放送を聴くことができます。ご家庭のテレビを AM ラジオ受信機としてご利用いただけます。

在京ラジオ3社は、地域情報の重要性が再認識されている中、それらの情報をより多くの方々に、確実にお届けすることが重要であると考えています。今回の取り組みは、都心のビルの谷間や送信所から離れた AM ラジオ放送の難聴取地域の受信改善となるだけでなく、約 441 万世帯にラジオの受信機が新たに置かれたこととなり、首都圏のリスナーに対するサービス向上となると同時に、ラジオ聴取の新たなスタイル構築にもつながることを期待しています。

一方で J:COM にとっては、TBS ラジオ、文化放送、ニッポン放送がサービスメニューに加わることで、身近な情報をきめ細かく伝える地域密着メディアとしての役割を強化し、地域にお住まいの方々への安全安心情報や生活情報の充実に寄与することになると考えています。

※注※ JCN エリアについては、2014 年秋以降の展開を予定しております。

● J:COM テレビで在京三社の AM ラジオを聴く手順



- ① リモコンの「d」ボタンを押すと逆 L 字形のデータ放送画面が表示されます。ラジオを聴く場合、右下の「AM ラジオを聴く」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。



- ② 初めてラジオを聴く場合、アットランダムに3局のうちの1局が選局され、その局の音声が入り、静止画が表示されます。2回目からは、最後に聴いていたラジオ局が選局されます。
- ③ 他局を聴く場合には「ラジオ選局」ボタンを押すと、切替ります。切替の順序は、周波数順に TBS ラジオ⇒文化放送⇒ニッポン放送です。ニッポン放送のあとは TBS ラジオに戻ります。

なお、「J:COM テレビ」ボタンを押すと、J:COM テレビの放送画面に戻ります。

* 画面のイメージは変更になる場合があります